

全国公募 第66回 日本南画院展募集要項

1. 目的 わが国伝統の南画（線と面による墨の表現）を伝承し、研究・創作された作品を広く公募、展示して国民の鑑賞と情操の涵養に資するとともに海外に紹介し、もって南画の普及振興を図り文化の発展に寄与する。
2. 名称 第66回 日本南画院展
3. 主催 公益社団法人 日本南画院
4. 後援 文化庁・東京都・京都府・大阪府 他
5. 会場及び会期 (2026年)

	会場名	会期	入場時間	備考
東京展	国立新美術館 (六本木)	2026.3.18 (水) ～2026.3.30 (月)	午前10時～ 午後5時30分	3月24日(火)は休館です。 (最終日の入場はP.M.2:30まで)
大阪展	大阪市立美術館 天王寺ギャラリー (天王寺公園)	2026.4.28 (火) ～2026.5.3 (日)	午前9時30分～ 午後4時30分	
京都展	京都市美術館 (岡崎公園) <通称 京都市京セラ美術館>	2026.8.18 (火) ～2026.8.23 (日)	午前10時～ 午後5時30分	

※周辺は駐車禁止です。

6. 搬入及び搬出 搬入及び搬出は別紙三都別関係案内の通り。
7. 応募資格 公益社団法人 日本南画院会員及び一般公募者。
8. 応募作品 1人一点。未発表の創作品に限る。
墨を一切使用しない作品、水彩画、油彩画と間違えられるような作品は不可。審査、鑑別のため署名と落款なし。

9. 作品規格 及び出品料	作品寸法	備考	出品料 (税込)
1部	30号～120号	裏打ちのまま額装せず搬入すること	1点 20,000円
2部	10号	額装なし、パネル貼り、へり巻き(白)にて搬入すること	1点 15,000円

10. その他応募に 関する費用	規定枠貼込料	5,000円	額縁保管料	80号以上 30号～50号	1点 10,000円 1点 5,000円
---------------------	--------	--------	-------	------------------	-------------------------

11. 年間会費	会長・副会長・顧問・理事長・副理事長・常務理事	120,000円	理事(審査員)	95,000円
	理事・監事	75,000円	参与	60,000円
	院友	30,000円	院人	25,000円
	正会員	15,000円	準会員	5,000円
	公募	0円		

12. 鑑・審査 (1) 鑑査員、審査員がこれに当る。
(予定) (2) 1部・2部応募作品について鑑査の結果、入選、選外とする。
- (3) 審査員 町田泰宣・山本和夫・潮見冲天・堀江春美・月居和子
河野元昭 (東京大学名誉教授)・島尾 新 (学習院大学教授)
- 鑑査員 町田泰宣・山本和夫・潮見冲天・堀江春美・月居和子・石黒柏堂・黒川諒子・村井小枝
小林冲悦・岡田桂山・小島 堯・富岡千壽・原 桂州・高橋恵冲・森川節夫・磯部由紀子
- (4) 鑑査日 2026年1月19日(月)～20日(火) 京都市勧業館 (みやこめっせ) 地下1階特別展示場
- (5) 本展審査の日程 2026年3月16日(月) 国立新美術館
- (6) 表彰式 2026年8月21日(金)
午前10:30 表彰式 ウェスティン都ホテル京都 (京都市東山区蹴上)
午前11:30 受付・(記念写真撮影はコロナ禍のため中止)
午後12:00～14:00 祝賀会 ウェスティン都ホテル京都 (京都市東山区蹴上)
- (7) 賞 ① 1部 文部科学大臣賞・竹田賞・日本南画院賞 (桂月賞・橋村賞・秋邨賞)
楽土賞・玉青賞・作家賞・特選・支部賞 (三都)・佳作賞
② 2部 優秀賞・秀作賞・奨励賞
13. 免責事項 応募作品に係る不可抗力による損傷について、主催者はその責を負わない。
14. その他 ① その他については、本展運営委員がこれに当る。なお、運営委員は別に定める。
② 東京・京都・大阪各事務に関する詳細事項は、三都別関係案内を熟読参照のこと。
③ 昨年までの応募関係用紙は一切受付致しませんので、必ず第66回の関係用紙をご利用ください。
④ 入金された出品料等諸費用は返却されません。